

修士論文(要旨)

2025年1月

日本語の〈～だす〉〈～はじめる〉と中国語の翻訳例
—夏目漱石『こころ』を題材に—

指導 青山 文啓 教授

国際学研究科

国際学術専攻

グローバルコミュニケーション実践研究学位プログラム

223J1006

張 雲貝

Master's Thesis (Abstract)
January 2025

A Comparison of "-DASU" and "-HAJIMERU" in Chinese Translation:
Based on Natsume Soseki's Novel Kokoro

YUNBEI ZHANG

223J1006

Master of Arts Program in Global Communication
Master's Program in International Studies
International Graduate School of Advanced Studies
J. F. Oberlin University
Thesis Supervisor: Fumihiro Aoyama

目次

序章	1
第1章 はじめに	1
1.1 研究背景と目的	1
1.2 先行研究	3
1.2.1 複合動詞に関する先行研究	3
1.2.2 〈～出す〉〈～始める〉に関する先行研究	4
1.2.3 日本語教育における〈～出す〉〈～始める〉	6
1.2.4 まとめ	6
1.3 研究方法	7
1.3.1 研究方法の見通し	7
1.3.2 データを収集した作品名	7
1.3.3 データの表示方法	7
第2章 〈V ₁ +V ₂ 〉の分類に関する提案	8
2.1 動詞と助動詞の分類基準	8
2.2 〈～出す〉と〈～始める〉における動詞と助動詞の再分類	11
第3章 〈～始める〉と中国語の対応分析	13
3.1 〈～始める〉が“起来”と対応する場合	13
3.2 〈～始める〉が“开始”と対応する場合	15
3.3 類型〈iii〉の〈～始める〉	16
3.4 まとめ	17
第4章 〈～出す〉と中国語の対応分析	18
4.1 〈～出す〉が〈複合動詞〉である場合	19
4.2 〈～出す〉が〈助動詞〉である場合	23
4.3 まとめ	26
第5章 〈～出す〉〈～始める〉における日中翻訳の特徴	28
第6章 おわり	31
6.1 まとめ	31
6.2 おわりに	31
用例出典	I
参考文献	I
使用したコーパス	I
付録	II

要旨

本研究は夏目漱石の『こころ』を題材に、日本語の〈～だす〉〈～はじめる〉と中国語の翻訳例を収集し、〈～だす〉〈～はじめる〉が翻訳される時、中国語とどんな対応関係にあるかについて考察する。

〈～だす〉と〈～はじめる〉は両方とも開始のアスペクトを表すので、言い換えられる場合が多い。〈～だす〉は〈～はじめる〉より〈突然〉と〈だしぬけに〉といった感じが強いとよく言われる。今まで〈～だす〉と〈～はじめる〉に関する研究は、習得研究が多かった。本研究は複合動詞の後項か、助動詞かという視点から、両者の違いを考える。また、日中翻訳にどんな影響を与えるかを明らかにしていく。

日本語の文法は動詞と助動詞の一線を曖昧なままにしている (青山 2023)。以下、〈動詞+動詞〉の場合、前項動詞を V_1 、後項動詞を V_2 という。複合動詞は動詞として一単語である。しかし、 V_2 が助動詞である場合、〈 V_1+V_2 〉は二単語と考えると、〈動詞₁+助動詞₂〉として辞書ではべつべつの単語と考えるべきである。日本語は膠着語であるので、動詞の後ろにいくつかの助動詞を付けられる。〈食べていない〉は動詞〈食べて〉と助動詞〈い〉と助動詞〈ない〉を組み合わせた三単語であるので、〈食べていない〉を一つのまとまった動詞とは考えにくい。したがって、〈食べ始める〉の〈始める〉が助動詞である場合、〈食べ始める〉は一単語の複合動詞ではなく、二単語である。しかし、今までの研究は V_2 を助動詞と考える研究者は少ない。

本研究は〈動詞+動詞〉を〈複合動詞〉と〈動詞+助動詞〉の二種類に分ける視点から〈～だす〉と〈～はじめる〉を分析する。〈～だす〉と〈～はじめる〉の分類基準を明らかにするために、先行研究を踏まえて、まず複合動詞と助動詞の判断基準を提示し、小説『こころ』の中に出てきた〈～だす〉〈～はじめる〉の日中翻訳の対応例を分析する。

その結果として、〈～出す〉〈～始める〉が〈複合動詞〉の後項か〈助動詞〉かが、中国語の翻訳に影響を与える。〈複合動詞〉の場合、中国語の翻訳の V_1 と V_2 が日本語の場合と同じく、同一目的語を共有する。〈助動詞〉の場合、中国語の翻訳は一単語ではなく、 V_1 と V_2 は同じ目的語をとっていない。〈～出す〉が〈開始〉の意味を表すとき、〈～始める〉と言い換えられ、助動詞である。また、〈 V_1+V_2 〉と目的語の繋がりも中国語の翻訳に現れる。〈複合動詞〉の後項か〈助動詞〉かを問わず、目的語との繋がりが強ければ、一つのまとまりとして翻訳されやすい。目的語がない場合、対応する翻訳がなくなる場合が多い。

キーワード：複合動詞 助動詞 対応関係

[参考文献]

- 青山文啓(2023)「日本語の動詞とその結合価」『言語資源ワークショップ発表論文集』1. pp. 127-132
- 池谷知子(2017)「開始を表す複合動詞〈～出す〉〈～始める〉の違い—コーパスを利用した使用実態から—」『神戸松蔭女子学院大学研究紀要言語科学研究所篇』20. pp. 35-59
- 影山太郎(2013)「語彙的複合動詞の新体系」ひつじ書房
- 影山太郎(2014)「日本語複合動詞の言語類型論的意義」『国語研プロジェクトレビュー』1. pp. 8-18
- 金田一春彦(1950)「国語動詞の一分類」『言語研究』15. pp. 48-63
- 郭恬(2009)「複合動詞の日中対照研究と中国人学習者に対する教授法への課題：日本語学習者への意識・習得調査をもとに」『信大国語教育』巻19. pp. 12-22
- 郭恬／徳井厚子(2009)「中国人学習者の日本語複合動詞に関する意識・習得調査」『信州大学教育学部研究論集』2. pp. 73-86
- 國廣哲彌／柴田武／長嶋善朗／山田進／浅野百合子(1982)『ことばの意味3』平凡社 pp. 70-77
- 吳鐘烈(2000)「局面動詞について「～始める」と「～出す」形の副詞的修飾成分との共起関係を中心に」『日本語・日本文学会』31. pp. 1-13
- 時衛国(2020)「“开始+*v*”と<V+ 始める>の対照研究」『愛知教育大学外国語外国文学研究会』53. pp. 25-40
- 鈴木裕文(2004)「日语「V 出す」和“V 出”的差異」『对外経済貿易大学研究論文』118. pp. 44-47
- 張予娜／鄧超群(2005)「日汉 V-V 复合动词的异同—从中心词角度考虑」『湖南大学学报(社会科学版)』19. pp. 91-96
- 寺村秀夫(1984)『日本語のシンタクスと意味・第II巻』くろしお出版
- 長嶋善郎(1976)「複合動詞の構造」『日本語の語彙と表現』鈴木孝夫〔編〕 pp. 63-104
- 朴龍徳(2013)「日本語の「～出す」と中国語の“～出”の対照研究」『大東文化大学大学院外国語学研究科編』14. pp. 219-228
- 白以然(2005)「複合動詞「～出す」・「～始める」の習得—韓国語を母語とする学習者の意識を中心に—」『人間文化論叢』8. pp. 307-315
- 森田良行(1978)「日本語の複合動詞について」『講座日本語教育』14. pp. 69-86.早稲田大学語学教育研究所